




イベント		入院日	手術前		手術後	手術後1日目	
日付		月 日()	手術前日	手術前	月 日()	月 日()	
患者目標		身体的準備ができています ⇒ 精神状態が安定している ⇒ 入院生活について理解できる	手術(治療・検査)の目的が理解できる ⇒		手術(治療・検査)の結果を理解できる ⇒ 出血傾向の症状・所見がない ⇒ 閉塞の症状・所見がない ⇒ 狭窄の症状・所見がない	合併症を起こさない ⇒ ⇒ ⇒	
		安静が守られている【シャント肢の採血、 ⇒ 血圧測定を避けることが出来る。シャント ⇒ の閉塞を起こす行動をしない(屈曲、腕 ⇒ 枕、圧迫など)】	⇒	⇒	⇒	⇒	
			合併症について理解できる ⇒ 手術について理解できる ⇒ 日常生活の注意点について理解できる	⇒	手術について理解できる		
	治療	処方 注射 処置 リハビリ	心電図検査(12誘導)	心臓超音波検査(経胸壁心エコー法) ⇒ 超音波検査断層撮影法(その他)	点滴(メイン) ⇒ 末梢点滴管理		創傷処置
	検査	検体検査 画像・生理・内視鏡	採血があります ⇒ 検尿があります ⇒ レントゲンがあります				
	食事	朝食 ⇒ 昼 ⇒ 夕食	蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal	蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal	蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal	⇒ ⇒ ⇒	蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal ⇒ 蛋白50g1800kcal
	栄養指導	安静について					
看護	検温	手術前2回、体温・脈拍・血圧H・血圧L・経 ⇒ 皮的動脈酸素飽和度(SPO2)・体重(k ⇒ g)・身長をみます	手術前2回、体温・脈拍・血圧H・血圧L・経 ⇒ 皮的動脈酸素飽和度(SPO2)・体重(k ⇒ g)をみます	⇒	手術後5回、体温・脈拍・血圧H・血圧L・経皮的 ⇒ 動脈酸素飽和度(SPO2)をみます	手術後2回、体温・脈拍・血圧H・血圧L・経 ⇒ 皮的動脈酸素飽和度(SPO2)・体重(k ⇒ g)をみます	
	説明・清潔・排泄	シャントについて説明をします(第2章③内 ⇒ シャント) ⇒ 術前オリエンテーションを行います ⇒ 入院時オリエンテーションを行います ⇒ 入浴を行います ⇒ 生活制限に関するオリエンテーションを行 ⇒ います	⇒	⇒	⇒	⇒ 入浴を行います(創を保護して)	
		⇒	シャント肢の切毛をします	⇒	⇒	⇒	
		⇒		⇒	⇒	⇒	
		⇒		⇒	⇒	⇒	
	観察・計測	副食摂取量をみます ⇒ 主食摂取量をみます ⇒ 尿回数をみます ⇒ 便回数をみます ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 尿回数をみます ⇒ 便回数をみます ⇒	
お知らせ					看護師がシャント音、スリルの確認をします	⇒	

手術後 手術後2日目 月 日()	手術後3日目 月 日()	手術後4日目 月 日()	手術後5日目 月 日()	退院日 術後6日目 月 日()
⇒	⇒	⇒	⇒	退院後の生活が理解できる
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
感染の徴候がない	⇒	⇒	⇒	⇒
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
日常生活の注意点について理解できる	⇒	⇒	⇒	⇒
	自己管理ができる	⇒	⇒	⇒
創傷処置	創傷処置	創傷処置	創傷処置	
採血があります				
蛋白50g1800kcal 蛋白50g1800kcal 蛋白50g1800kcal	蛋白50g1800kcal 蛋白50g1800kcal 蛋白50g1800kcal	蛋白50g1800kcal 蛋白50g1800kcal 蛋白50g1800kcal	蛋白50g 蛋白50g 蛋白50g	
⇒	⇒	⇒	⇒	手術後1回、体温・脈拍・血圧H・血圧L・経皮的動脈血酸素飽和度(SPO2)をみます
シャント側のボール握りを行います	⇒	⇒		
⇒	⇒	⇒	⇒	
患者さんの持参薬を戻します				
シャントについて説明をします(第2章③シャント閉塞に繋がる行動)	シャントについて説明をします(第2章③シャント音、スリルの確認)	シャントについて説明をします(第2章③自分で行うシャント管理について話し合う)		
				退院指導を行う(パンフレットのシャント第2章③について患者と振り返りをする)
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⇒	⇒	⇒	⇒	⇒